

教科(科目)	農業(生物活用)	単位数	2単位	学年(学科・コース)	3年 生物工学科 生産技術科
使用教科書	生物活用 農文教			授業形態	選択
副教材					

1 科目目標

園芸作物の活用に必要な知識と技術を習得させ、園芸作物の特性及び園芸を活用したセラピーの特質を理解させるとともに、生活の質の向上や健康の改善を図る能力と態度を育てる。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	暮らしと園芸	・園芸作物と私たちの暮らしがどのように関わっているか理解させるとともに、園芸作物の活用に興味と関心をもたせる。	6	定期考査を行い知識・理解を評価する。実習レポートの内容、ノートの記事帳で興味・関心を評価する。授業の出席状況、実習の取り組み等で態度・意欲を評価する。
5	園芸の効果	・園芸活動や園芸デザインの活動がもつ多様な効果について理解させる。	8	
6	園芸の効果を生かす活用場面	・園芸がもつ効果が生活、福祉、医療、教育等の現場でどのように活用されているか理解させる。	8	
7	草花の特性と活用のポイント	・それぞれの草花の特性を把握し、その特性を有効に利用することが大切であることを理解させる。	8	
9	花壇の活用と管理	・さまざまな花壇の種類と活用方法について理解させる。	8	
10	園芸を活用した交流	・花壇の作成をおこない、花壇をデザインする際のポイントと栽培管理について理解させる。	6	
11	フラワーデザイン	・コンテナガーデンの作成をおこない、コンテナガーデンの特徴、デザインのポイント、留意点、管理方法等について理解させる。	14	
12	室内園芸装飾	・高齢者と共同で花壇やプランターへの苗の植え付け作業をおこない園芸作物を活用した対人サービスについて理解させるとともに、地域住民と交流する。	6	
		・フラワーデザインの特徴、種類、活用の仕方について理解させる。		
		・フラワーアレンジメントに必要な基礎知識と基本的な技術について理解させる。		
1	容器栽培	・容器栽培の特徴とポイントについて理解させる。	2	同上
2	園芸療法	・園芸療法の特徴や歴史について理解させる。	4	
3		・日本や海外の園芸療法の現状、役割、方法について理解させる。		

3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心・意欲・態度	園芸作物の活用に関心を持ち、意欲的に学習しているか。 班員と協力して実習に取り組むことができるか。	出席状況 授業態度・実習態度 レポート提出 ノート・プリント提出 定期考査等 上記を総合して100点満点で評価する
思考判断	園芸作物のもつ効果がいきる活動や方法を考えておこなうことができるか。	
技能表現	花壇デザインやフラワーアレンジメントなど園芸作物を効果的に活用できているか。	
知識理解	園芸作物の特性と活用方法を理解しているか。	